

no.1

# 建物案内 明心館(同志社小学校)



竣工日2006年1月18日



チャペル

館名は、同志社小学校が  
明朗で快活な、心の豊かな  
児童の育成を目指している  
ことから、聖書のコリント  
信徒への手紙一4章5節の  
「主は闇の中に隠されてい  
る秘密を明るみに出し、人  
の心の企てをも明らかにさ  
れます」という言葉を用い  
て「明心館」と命名された。  
本校を訪問された方々は、  
明るく開放的な建物である  
と印象を語られる。これは  
「明心館」が校舎内にチャ  
ペルコートと称する中庭を  
設け、ガラスを多用して採  
光に工夫していることに起  
因する。また、こうした校  
舎の構造で死角が少なく  
なり、児童を目視で見守るこ  
とができることも校舎の特  
色のひとつである。  
明るく開放的な校舎の中  
で、児童は伸び伸びと学校  
生活を送っている。

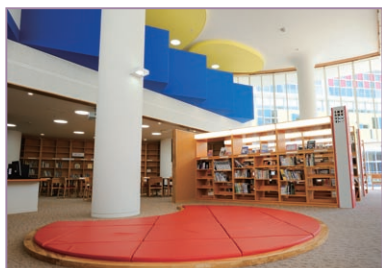
## 抱志館(同志社国際学院)



竣工日 2011年1月26日



チャペル



図書館

「幕末の末路、外交切迫して人心動揺するの時に際し、余不肖海外遊学の志を抱き、脱藩して函館に赴き、遂に元治元年六月十四日の夜、密かに国禁を犯し、米国商船に搭し」（『同志社大学設立の旨意』）及び「我輩この素志を抱けるは今日に於て初まりしにあらず」という新島の言葉に由来する。

4階は主として英語を使用する国際部の普通教室、3階は主として日本語を使用する初等部の普通教室とTIE（Time in English）ルーム、2階にはチャペル、図書館、体育館、多目的ホールのKizunaホール、専科の特別教室が配置され初等部と国際部で共用している。

赤・黄・青でデザインされた窓、遊具を備えた校庭、ゆるやかなカーブを描いたエントランスや中央階段など、子どもたちがのびやかに過ごす自由な空間となっている。